

令和3年度期事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

I. 総務関係

1. 理事会

第1回理事会を書面により、次の議案を令和3年4月23日付けで提案し、同意書により令和3年4月30日付けで原案通り可決した。

(決議事項)

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 第1号議案 | 令和2年度事業報告の件 |
| 第2号議案 | 令和2年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件 |
| 第3号議案 | 令和2年度公益目的支出計画実施報告の件 |
| 第4号議案 | 令和3年度定時評議員会開催の件 |

第2回理事会を書面により開催し、次の議案を令和3年5月14日付けで提案書を送付、5月21日付けで同意書により原案通り可決した。

(決議事項)

- | | |
|-------|-----------------|
| 第1号議案 | 理事改選に伴う常勤理事選任の件 |
|-------|-----------------|

第3回理事会を本部事務所で開催し、次の議案を決議した。

(決議事項)

- | | |
|-------|-------------------|
| 第1号議案 | 令和3年度上期事業報告の件 |
| 第2号議案 | 令和3年度経営概況の件 |
| 第3号議案 | 令和4年度研究調査助成事業の件 |
| 第4号議案 | 研究調査助成事業の審査委員選任の件 |

第4回理事会を書面により開催し、次の議案を令和4年3月4日付けで提案書を送付、同意書により令和4年3月15日付けで原案通り可決した。

(決議事項)

- | | |
|-------|-----------------|
| 第1号議案 | 令和4年度事業計画の件 |
| 第2号議案 | 令和4年度収支予算の件 |
| 第3号議案 | 令和4年度定時評議員会開催の件 |

2. 評議員会

定時評議員会を書面により、次の議案を令和3年5月10日付けで提案し、同意書により令和3年5月20日付けで原案通り可決した。

(決議事項)

- 第1号議案 令和2年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件
- 第2号議案 評議員、理事、監事選任の件
- 第3号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規定改定の件
- 第4号議案 令和3年度役員報酬の件

(報告事項)

1. 令和2年度事業報告の件
2. 令和2年度公益目的支出計画実施報告の件
3. 令和3年度事業計画の件
4. 令和3年度収支予算の件

II. 業務関係

1. 実施事業

(1) 黒毛和種の生産対策事業

- ① 体外受精卵による黒毛和種生産促進対策事業を推進した。この事業の生産団地別 IVF 供給実績は、次の通りとなった。

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

県名	生産団地名	IVF供給量	移植促進費
北海道	(農事)川瀬牧場	44	88,000
〃	パシフィックファーム(株)	194	388,000
〃	稚内農協	47	94,000
岩手	小岩井農牧(株)	200	400,000
宮城	みやぎの酪農協	194	388,000
長野	南信酪農協	26	52,000
福島	福島県酪農協	555	1,110,000
愛知	LIAJ 受精船利用研究会	1	2,000
大阪	大阪畜産農協	112	224,000
兵庫	兵庫県酪農協	14	28,000
島根	三瓶開拓酪農協	10	20,000
計	11ヶ所	1,397 個	2,794,000 円

② 体外受精卵の移植技術現地指導

1. 指導日時 令和3年5月27日(木)～28日(金)

指導場所 大阪府堺市南区畑 堺酪農団地 2軒 3頭
堺市 北尻芳孝 3頭
枚方市 田辺牧場 4頭

2. 指導日時 令和3年11月18日(木)～19日(金)

指導場所 大阪府堺市南区畑 堺酪農団地 1軒 22頭
林牧場 22頭

3. 指導日時 令和3年11月25日(木)～26日(金)

指導場所 大阪府堺市南区畑 堺酪農団地 2軒 8頭
前田昭仁 2頭 小西克典 6頭

4. 指導日時 令和4年1月27日(木)～28日(金)

指導場所 大阪府堺市南区畑 堺酪農団地(4軒・29頭)

小西克典 5 頭、前田晴記 3 頭、前田昭仁 3 頭、
林幸信 18 頭

堺市 北尻芳孝 5 頭

枚方市 田辺淑久 4 頭

田尻町 原利一 5 頭

1.~4 の現地指導は、いずれも家畜改良事業団 前橋種雄牛センター
東海近畿事業所松本専門役を講師として実施した。

(2) 研究調査助成事業

令和 3 年度研究調査助成事業実施要領に基づき公募の結果、26 の研究機関
(大学関係 18、県関係 7、行政法人 1)より 46 課題、助成申請額 44,599 千円
の応募があり、研究調査事業審査委員会の審査を経て、令和 3 年度の研究調
査助成事業は、20 課題、19,910 千円を助成対象とした。
詳細は別紙 1 の通り。

2. 収益事業

(1) 体外受精卵の販売

体外受精卵の供給実績

区 分	年度計画	年度実績	進捗率
指定生産団地	2,000 個	1,397 個	69.85 %

供給形態は、凍結卵 1,219 個 生鮮卵 178 個 凍結卵供給比率 87.3 %
種雄牛別の供給明細は、別紙 2 の通り。

(2) 産肉能力検定牛の販売

第 25 回家畜改良事業団和牛枝肉研究会

令和 3 年 6 月 25 日東京食肉市場において開催。

生産者は、北海道産肉能力検定場 11 頭、広島産肉能力検定場 12 頭、三重・
(株)加藤牧場 10 頭、島根・(株)松永牧場 8 頭、佐賀・森山牧場 4 頭、(独法)
家畜改良センター奥羽牧場 12 頭 計 57 頭

(枝肉評価)

57 頭平均

月 齢	枝肉重量	バラ厚	BMS	枝肉単価	枝肉金額
28.2 ケ月	515.4kg	8.1C	8.1	2,266	1,170 千円

(種雄牛別枝肉資質) 別紙 3 の通り。

第 26 回家畜改良事業団和牛枝肉研究会

令和 4 年 2 月 4 日東京食肉市場において開催。

生産者は、北海道産肉能力検定場 12 頭、広島産肉能力検定場 12 頭、三重・(株)加藤牧場 9 頭、島根・(株)松永牧場 8 頭、佐賀・森山牧場 4 頭、(独法)家畜改良センター奥羽牧場 12 頭 計 57 頭

(枝肉評価)

57 頭平均

月 齢	枝肉重量	バラ厚	BMS	枝肉単価	枝肉金額
29.3 ヶ月	521.9kg	8.3C	8.1	2,095	1,094 千円

(種雄牛別枝肉資質) 別紙 3 の通り。

現場後代検定牛の販売

種雄牛の選抜のための現場後代検定牛の販売を行い、併せて事業団の食味分析調査に協力し、6・7 肋骨間のロース断面のサンプルを採取し、事業団の家畜改良技術研究所へ送付した。

取扱頭数 広島・北海道検定場他 300 頭

(3) 土地賃貸事業

令和 3 年度基本財産土地賃貸借収入は、年間計画 101,311,000 円に対し、期末実績は、計画比 100%の実績であった

なお、未利用地の活用については、コロナ禍により企業誘致は進まず、今後の課題となった。

以 上

令和3年度研究調査助成事業応募・審査一覧

別紙 1.

	研究機関名-研究者	令和3年度 申請課題		申請額 千円	審査 可否	審査 採点
		畜種	課 題 名			
1	宮崎大学獣医学部 準教授 関口 敏	牛	血液1滴から牛伝染性リンパ腫ウィルスのプロウイルス量を測定できる絶対定量法の開発	1,000	○	96
2	東京農業大学農学部 教授 白砂 孔明	牛	長期不受胎牛に対する追い移植効果向上に向けた体外受精胚の活用に関する研究	1,000	×	40
3	東京大学農学生命科学研究 教授 猪熊 壽	牛	牛の先天性心奇形発生に関する遺伝子の解明	1,000	○	88
4	岩手大学農学部 準教授 平田 純一	牛	高齢牛由来卵子核質の若齢卵子への置換による産子生産	995	×	56
5	麻布大学獣医学部 教授 恩田 賢	牛	ケトーシス発症時の低血糖値に対する反芻動物のグルカルゴン分泌	1,000	×	36
6	宮崎大学農学部 講師 脇谷 晶一	牛	黒毛和種のT細胞産生異常の病態解明を目指した骨盤および胸腺内の細胞動態調査	1,000	○	64
7	静岡県立農林環境専門大学 短期大学部 講師 瀬戸 隆弘	牛	ウェアラブルセンサーによる生体モニタリングデータからの牛の健康性診断技術の開発	1,000	×	36
8	鹿児島大学共同獣医学部 準教授 乙丸 孝之介	牛	ビタミンEに着目した子牛のストレス緩和および免疫機能向上についての研究	1,000	×	52
9	日本獣医生命科学大学 助教 荻田 裕二郎	牛	黒毛和種の発情同期化に使用するホルモン剤の違いが卵細胞発育動態および発情発現時期に与える影響	850	×	48
10	日本獣医生命科学大学 準教授 岡田幸之助	牛	農家で採取した卵子の発生能を低下させない輸送方法の開発	935	×	60
11	日本獣医生命科学大学 教授 牛島 仁	牛	各種ウシ体外培養液で生産された胚の正常性の検定	946	×	44
12	日本大学獣医学科 準教授 大滝 忠利	牛	乳牛の繁殖機能に影響を及ぼすルーメン内環境の特徴、特にルーメン内細菌叢との関係	1,000	○	80
13	信州大学獣医学科 助教 諸白 家奈子	産業 動物	体外卵胞培養技術の高度化に向けた血清フリー培地の開発	1,000	○	92
14	東京農業大学農学部 准教授 小林 明子	牛	牛伝染性リンパ腫発症を早期診断する技術の開発	1,000	○	84
15	日本獣医生命科学大学 講師 三浦 亮太郎	牛	お灸処理が黒毛和種の採胎成績に及ぼす影響	995	×	44
16	山口大学獣医学部 準教授 渋谷 周作	牛	黒毛和種における既知バリエーション保有状況の調査	1,000	○	76
17	山口大学獣医学部 準教授 角川 博哉	牛	ウシ脳で新発見した繁殖障害の原因、特殊リン脂質が泌乳・加齢で異常化する機構の解明	1,000	○	92
18	(国研)農研機構畜産部門 豚代謝ユニット長 村上 育	豚	国産トーモロコシ生産における窒素施肥量と窒素源の違いが豚に対する子実の栄養価に及ぼす影響	997	×	36
19	(国研)農研機構畜産部門 食品ユニット長 佐々木啓介	牛肉	乳用種牛肉の差別化、高付加価値化に「熟成」が有効であるか、「味」の改善に着目して検証する	1,000	○	80
20	(国研)農研機構畜産部門 上級研究員 阪谷 美樹	牛	無線式体温測定センサーを利用した牛難産、後産停滞予知の試み	950	○	92
21	酪農学院大学 獣医学部 準教授 林 英明	牛	オキシトシン鼻腔内噴射による母子関係改善効果の検証	1,000	×	40
22	酪農学院大学 獣医学部 講師 福森 理加	牛	乳牛子牛の離乳移行期におけるヒスタミンのルーメン内濃度と消化管機能に及ぼす影響の解析	1,000	×	48
23	酪農学院大学 獣医学部 講師 権平 智	牛	乳房炎における遊離アミノ酸と常在細菌叢の関係	1,000	○	68
24	岩手大学 農学部 特別研究員 宮崎 珠子	牛	牛乳を搾ると幸せになれる一オキシトシンがもたらす人と牛の相互関係の検証	1,000	×	36
25	帯広畜産大学獣医学部 講師 後藤 聡	牛	ウシ潜在精巣に対する免疫学的去勢効果の有効性検討	1,000	×	48
26	宮崎大学 獣医学部 教授 佐藤 礼一郎	牛	α-アミノプリン酸投与が離乳期の黒毛和種子牛の抗酸腐能および免疫機能に及ぼす影響について	1,000	×	44

	研究機関名-研究者	令和3年度 申請課題		申請額 千円	審査 可否	審査 採点
		畜種	課 題 名			
27	愛知県農業総合試験場 養牛研究室 主任 児嶋智貴	牛	哺乳子牛への海藻飼料給与が腸内細菌叢及び免疫活性性及び影響	1,000	×	52
28	岡山大学 環境生命科学研究 教授 木村 康二	牛	黄体退行阻害による新規ウシ受胎促進剤の開発	960	○	68
29	岡山大学 環境生命科学研究 準教授 辻 岳人	牛	黒毛和種で見つかった筋ジストロフィー発症家系における原因遺伝子同定	1,000	○	92
30	神奈川県畜産技術センター 技師 中原 祐輔	豚	豚液状精液の冷蔵保存に向けた新規保存液及び冷却プログラムの検討	1,000	○	84
31	福岡農林業総合試験場 畜産部主任技師 林 武司	牛	凍結前短時間レスベラトロール処理による受精胚品質及び受胎率向上に関する研究	1,000	○	80
32	東京大学大学院獣医学専 助教 貞方 文絵	牛	高泌乳牛の低栄養による卵胞内微小環境の卵母細胞の胚発生能に及ぼす影響	1,000	○	88
33	(国研)農研機構動物衛生部門 研究員 尾澤 知美	牛	多機能尾部センサーを用いた子牛発熱検知技術の開発	1,000	○	68
34	福岡農林業総合試験場 専門研究員 小山 太	家畜	ゲル透過クロマトグラフを用いた家畜糞堆肥の腐植物質の解析と植物生理活性効果の検証	999	×	52
35	宮城県畜産試験場 主任研究員 及川 俊徳	牛	黒毛和種における経膈採卵前のヒアルロン酸添加ブタFSH製剤投与の効果に関する研究	1,000	×	60
36	北海道立総合研究機構 酪農試験場研究員 田辺智樹	牛	全血Brix値による新生子牛の受動免疫獲得状況の推定	1,000	○	80
37	山形大学農学部 準教授 松山 裕城	豚	肥育豚における排泄物からの臭気抑制時の腸内細菌叢の解明	985	×	48
38	横浜国立大学工学研究院 準教授 百武 徹	牛	疑似卵管マイクロ流体チップを用いた和牛胚の受胎率改善技術の研究	1,000	×	56
39	長崎県農林技術開発センター 主任研究員 山崎 邦隆	牛	短期間給与飼料調整による受精卵移植受胎率の高度安定化手法の開発	1,000	×	52
40	北里大学獣医学部 助教 菅野 智裕	牛	「持続可能型肉牛生産システム」が日本短角種の健康性および生産性に与える影響の検討	1,000	×	44
41	北里大学獣医学部 特任教授 佐藤 将伍	牛	黒毛和種における唾液と胃腸管内容物の細菌叢構成および機能的特徴の解析	1,000	×	44
42	北里大学獣医学部 講師 前田 洋祐	牛	気管支肺胞洗浄液の網羅的細菌叢解析による難治性肺炎牛の病態解明	1,000	×	60
43	(国研)農研機構東北農業研究 上級研究員 伊賀 浩輔	牛	乳汁及び唾液中の血管作動性ペプチド濃度測定による簡易な牛の妊娠検査及び流産予察技術の開発	1,000	×	56
44	岐阜大学応用生物科学部 教授 八代田 直人	牛	植物中二次代謝産物(PMSs)による黒毛和種哺乳子牛の下痢抑制効果とメカニズム	987	×	56
45	宮崎大学獣医学部 準教授 北原 豪	牛	黒毛和種ウシ体外胚の生産効率向上に向けた新たな体外成熟法の開発	1,000	○	72
46	九州大学農学研究院 準教授 山内 伸彦	牛	三次元培養系を用いたウシ子宮内膜エクソソームの解析	1,000	○	64
	計			44,599		

この表は応募順に記載。

審査は5人の審査委員によりA・B・C・Dの四段階の評価をもとに採点した。満点は100上位20件(○印)を助成対象とした。

別紙 2

種雄牛別(黒毛和種・乳牛別)供給明細は次の通り。

(単位:受精卵個数)

種雄牛名	種雄牛 のみ	MGS+	乳牛	登記	計
(黒毛和種)					
Sort90sy 美津照重	5	23			28
Sort90sy 美津金幸		138			138
Sort90sy 茂晴花	164	420			584
Sort90sy 愛之国	2	78			80
Sort90sy 幸忠栄		23			23
福之姫	242	299			541
(乳牛)					
Sort90 エモーション			3		3
合計	413	981	3	0	1,397

別紙 3

(種雄牛別枝肉資質) 第25回枝肉研究会分

父	頭数	等級	枝肉重量	ロース断面積	バラ厚	皮下脂肪	歩留	BMS
富福花	8	4.63	502.5	65.5	7.7	2.5	74.5	8.9
百合美	6	5.00	527.7	75.5	8.2	2.5	75.9	10.0
芳華百合	5	4.40	564.2	72.2	9.4	2.9	75.4	7.0
若茂晴	5	4.60	520.2	65.4	8.0	3.1	73.9	8.0
秋忠国	5	4.60	449.6	58.6	7.5	2.8	73.9	8.2
秋鈴平	4	3.75	543.8	62.3	8.6	3.2	73.6	7.0
安平関	4	5.00	558.0	73.5	8.2	2.7	75.0	10.3
福久増	4	4.00	470.3	65.8	7.5	2.7	74.7	7.0
崇芳照	4	3.50	443.8	55.0	7.6	2.5	73.9	5.3
百合千代	3	4.00	554.3	68.0	8.5	2.7	74.5	7.3
幸野村	3	4.67	538.0	62.7	8.8	2.4	74.6	8.3
文幸紀	3	4.67	507.7	66.3	8.1	2.8	74.5	8.0
新之助 1	2	4.50	544.0	62.0	8.1	3.1	73.4	7.5
福之姫	1	5.00	568.0	80.0	8.7	2.9	76.0	11.0
合計(平均)	57		515.4	66.3	8.1	2.7	74.6	8.1

(種雄牛別枝肉資質) 第26回枝肉研究会

父	頭数	等級	枝肉重量	ロース断面積	バラ	皮下脂肪	歩留	BMS
清美川	6	4.5	481.8	56.8	7.5	2.8	73.3	8.2
武晴平	5	4.2	528.4	63.2	8.2	3.3	73.5	6.6
幸忠正	5	3.8	540.6	69.4	7.7	3.9	73.3	5.6
茂晴鶴	5	4.0	588.2	68.0	9.3	4.0	73.5	7.6
福之鶴	5	4.8	523.6	73.8	8.4	2.8	75.6	9.6
幸忠平	5	4.4	573.8	76.2	8.9	3.0	75.4	7.8
福美国	4	4.5	495.5	71.0	8.6	2.9	75.6	8.0
百合美藤	4	5.0	491.8	73.3	8.2	2.7	75.9	10.0
福華鶴	4	4.3	469.5	56.5	8.0	2.9	73.6	8.3
秋忠正	3	5.0	534.3	84.0	8.0	2.5	76.8	9.7
久増	3	4.7	514.7	68.0	7.8	2.3	75.0	7.7
勝忠宏	3	5.0	555.3	71.3	9.1	2.9	75.1	9.3
睦幸久	2	4.5	493.5	73.0	7.8	2.4	75.7	8.5

父	頭数	等級	枝肉重量	ロース断面積	バラ	皮下脂肪	歩留	BMS
照重野村	2	4.5	487.0	69.5	8.2	1.8	76.2	9.5
美津照富士	1	4.0	483.0	66.0	7.0	2.6	74.4	7.0
合計	57	4.5	521.9	68.7	8.3	3.0	74.7	8.1